

# 令和2年度決算状況 概要

令和2年度は7回(347億6888万9千円)の補正予算を組み、コロナ対応に取り組みました。

## 令和2年度に 実施した 主な事業

- ・子育て世帯に対する給付金の給付
- ・PCR検査センターの運営支援
- ・小・中学校の児童・生徒に1人1台のタブレット端末の導入
- ・多磨駅周辺地区における駅舎の橋上化及び自由通路整備
- ・避難所用備蓄品の整備
- ・プレミアム付商品券の発行

歳入 **1388億9387万5千円**

市税	520億3688万7千円	(37.5%)
国庫支出金	475億4970万7千円	(34.2%)
都支出金	134億6629万8千円	(9.7%)
地方消費税交付金	56億6751万1千円	(4.1%)
その他	201億7346万8千円	(14.5%)

歳出 **1351億8263万9千円**

民生費	537億7596万4千円	(39.8%)
商工費	290億5458万2千円	(21.5%)
教育費	161億7137万円	(12.0%)
総務費	100億1357万2千円	(7.4%)
土木費	69億4851万3千円	(5.1%)
衛生費	64億2511万6千円	(4.8%)
その他	127億9351万8千円	(9.4%)

## 令和3年度 9月 補正予算 一般会計 **36億6763万円** 増額

今回の補正予算では、新型コロナウイルス感染症対策に係る事業及び当初予算編成後の状況の変化により対応が必要な事業、前年度決算からの繰越しや精算についての予算計上を行います。

新型コロナウイルス感染症対策に係る事業は、「生活支援対策」として、新型コロナウイルス感染症拡大により生じた地域課題の解決に向け、企業と協働で取り組むソーシャルビジネスを支援するなど2事業を実施するほか、「経済支援対策」として、テイクアウト・デリバリー商品を取り扱う中小企業・小規模事業者を支援します。また、「新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策」として、新型コロナウイルスワクチン接種体制を確保する経費の追加や小中学校の普通教室に換気扇を設置するなど8事業を実施するほか、「小中学校の臨時休校等に伴う学習支援対策」として、GIGAスクール構想を加速化するためICT支援員の拡充及び学習環境整備を実施します。

そのほか、千葉県八街市の交通事故を受け、児童がより安全安心に通学できるよう指定通学路の実態調査を実施します。

### 新型コロナウイルス感染対策に係る主な事業

会派として  
要望し、実現  
しました!

新型コロナウイルス対策として、小中学校普通教室に換気扇を設置



GIGAスクール構想を加速化させる為の取組みとして、ICT支援員の拡充及び環境整備を実施



テイクアウト・デリバリー利用を促進する消費者還元策について一店舗当たり上限10万円補助



### 市政会 令和4年度 会派要望

令和4年度に向けて、市民の皆様のご意見を受け、会派として要望して参ります。

QRコードを使った位置情報の表示や、避難所までのルートが確認できるような、防災に関する様々な情報が取得できるアプリソフトなどの導入

府中駅周辺において、さらなる回遊性と、賑わいのあるまちづくりに向け、府中駅前通りに横断歩道等の設置

市内各駅にホームドアの設置とバリアフリー化の促進

中学校クラブ活動へ積極的に外部指導員の活用増員

給食センターを有効活用し、幼稚園、高齢者施設等へも配食サービスの提供

地域防災センターのトイレを和式から洋式への改善

ペットボトル、および段ボール回収の収集頻度を上げてもらいたい。

